

代表質問発言通告書

発言順位 4 番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

平成28年2月23日

三島市議会議員 松田 吉嗣 様

三島市議会議員 20 番 佐藤 寛文



質問事項及び具体的内容
<p>1 施政方針及び予算案について</p> <p>次代を担う子供たちに極力つけを残さないよう、希望に満ち、活気あふれるまちにしていくべく施政方針及び新年度予算について以下伺う。</p> <p>(1) 市長が掲げる「選ばれる都市」とは、具体的にどのような思いを持って掲げているのか伺う。</p> <p>(2) 政策の優先順位を明確にし、方向性をしっかりと明示した上で再度事業の優先順位を決定すべきと考えるが市長のご所見を伺う。</p> <p>(3) 部局内でのペイ・アズ・ユーゴー原則（新たな施策を行うときは、自らの部局の今ある事業を廃止して財源を生み出さねばならないという事）の考えは予算編成のルールとして明確に設定されているのか伺う。</p> <p>(4) 新年度予算における財政調整基金の計画積立が約2,000万円となっているが、将来の行政運営を考慮すると、予算における積立額が少ないと考えるが見解を伺う。</p>
<p>2 ファシリティマネジメント（公共施設保全計画）について</p> <p>公共施設が老朽化してきて本市の公共施設のおよそ50%は、これから30年で一斉に更新時期を迎え、将来の維持管理建て替えの費用は830億円という多額の費用が必要となることから、その財源不足を補う為に、公共施設の計画的な維持管理が必要と昨年3月基本方針が策定されたが、公共施設保全計画は本市の将来における重点項目と考え、以下伺う。</p> <p>(1) 公共施設等総合管理計画の進捗状況を伺う</p> <p>(2) 学校を地域の拠点として温存し、将来的にそこに子育て支援機能、コミュニティ機能、さらには福祉施設の機能も集約していくことがファシリティマネジメントの合理的な指針を与える事になると考えるが市長のご所見を伺う。</p> <p>(3) 公共施設の延床を29%削減を達成する事で一般財源の不足分及び地方債元利償還金の一般財源必要額159億円を補う整合性について具体的に伺う。</p> <p>(4) この課題こそ、市民合意が必要であり公共施設保全計画を実施に移す際の市民参加を制度として保障しておく必要性について伺う。</p>
<p>3 消防防災事業について</p> <p>4月からの広域消防が万全を期したものになる事を望み以下伺う。</p> <p>(1) 指令センター改修の必要性について</p> <p>(2) 各市町保有の車輛等について</p>
<p>4 スマートウェルネス事業について</p> <p>スマートウェルネス事業が市民の健康習慣の確立に繋がる事を願い以下伺う。</p> <p>(1) 平成25年度より3か年で27のコアプロジェクトが策定され、間もなく3年を経過しようとしているが、次なるプランについて伺う。</p> <p>(2) 新年度において、廃止する事業があるのか、また新規事業があるのか伺う。</p> <p>(3) スマートウェルネス事業と国保税との関連性をどう捉えるのか伺う。</p>